

フィールド風

(現場)からの

宮田守男

今日から2月初めの立春前日まで「寒の土用」ともいわれ、一年でもっとも寒い時期、昔から栄養たっぷりの食材を取り入れ、元気に乗り切ったこの風習

がある。インフルエンザも大流行し、体調管理が難しい時期には体を温める食材などを積極的に取ることをお勧めする。

今日1月17日は尾崎紅葉の金色夜叉で主人公の間寛一が、交際相手のお宮から、富豪の元に嫁ぐと打ち明けられた時に返した「いいか、お宮さん、一月の一七日だ。来年の今月今夜になったら、僕の涙で必ず月は曇らせて見せるから」の言葉を想いだし夜空を仰いではどうだろうか。もし曇っていたら寛一の想いが今なお続いているのかと考えれば曇天

も楽しいひと時になるに違いない。

今年はずくも令和7年、昭和が続いていれば今年も昭和1000年。昭和生まれは、これから自分の生年を引けば簡単に年齢が判明。昭和生まれが高齢

地域を訪れる皆さんとの連携に関心を

世代になる現実、昭和生まれが若者にとっ

て疎ましく思われない心掛けが大切だ。長野オリンピックの地元支援で多くの企業からの協賛活動経験があり、各種イベントでの企業名の露出が今で

も気になってしまう。箱根駅伝で2年連続8

度目の総合優勝を果たした青学大選手ユニホームへのロゴに新潟県妙高市、熊本県球磨郡水上村のロゴ。水上村は1000以上の標準地にクロスカントリー

締結していることを知る。

水上村は原監督が代表理事を務める会社と包括連携協定を結び、原監督自身も村の地方創生推進アドバイザーに就任、合宿した宿泊先は箱根駅伝優勝メンバーの一人が支配人に、水上村が合宿地に「ふさわしい」と話す。村のホームページへのアクセス数は箱根往路の1月2日だけで通常時の120倍の約6000件、ふるさと納税

の担当にも電話がめっちゃ鳴って、4名の職員では対応しきれず職員募集の事態にも。大北地域には世界レ



JR白馬駅前バス停留所。地域情報を求める外国語への対応が求められている

ベルで活躍する選手が大会やトレーニングで訪れる地域でもある。訪れる皆さんと地域を結ぶ事で得られる可能

性に夢馳せてはどうだろうか。

(信州地域社会フォーラム会員・白馬村森上)